

発行：2022年12月27日  
発行所：公益社団法人日本建築家協会（JIA）近畿支部和歌山地域会  
和歌山市ト半町38 建築士会館2F  
073-432-1558  
jia.wakayama@iris.eonet.ne.jp

編集：広報委員会 委員長 西本 寛史

表紙：「イタリア ピサ大聖堂と斜塔（鐘楼）のスケッチ 1975.3.8」  
橋 雅彦 <エテルノ建築設計事務所>

JIA 和歌山地域会

<正会員>

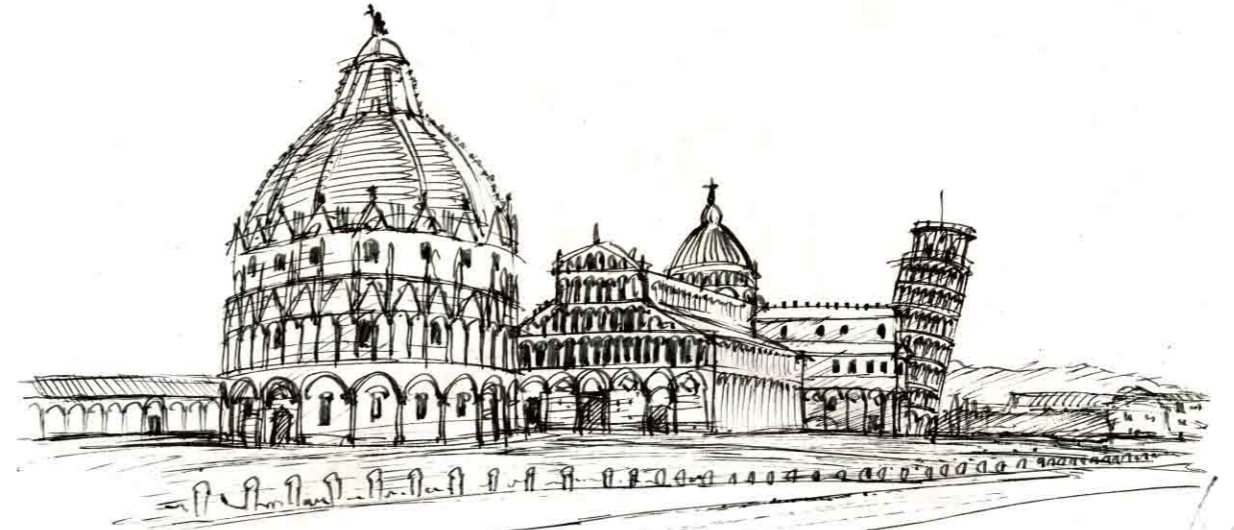
- |                       |                          |                                  |                         |
|-----------------------|--------------------------|----------------------------------|-------------------------|
| 生駒 義範<br>／不二設計        | 柴本 米一<br>／サイモン建築設計室      | 谷岡 拓（地域会長）<br>／榊堀田設計             | 西本 寛史<br>／nha           |
| 岩脇 邦樹<br>／榊環境建築計画     | 島 桐子<br>／アトリエウー級建築士事務所   | 辻岡 直樹<br>／辻岡直樹建築設計事務所（株）         | 橋本 浩行<br>／橋本浩行建築設計室     |
| 上野山 和男<br>／建築設計事務所カオス | 城本 章広<br>／城本建築設計事務所      | 中西 重裕<br>／（株）一級建築士事務所 K&N アーキテツク | 橋本 雅史<br>／（株）キューブ建築研究所  |
| 川 宗一<br>／榊川建築事務所      | 瀧川 嘉彦<br>／（株）瀧川建築デザイン事務所 | 中野 肇<br>／一級建築士事務所楽工舎             | 山中 淳<br>／一級建築士事務所理想建築工房 |
| 小谷 真司<br>／小谷建築設計事務所   | 橋 雅彦<br>／エテルノ建築設計事務所     | 中道 哲也<br>／（株）スタジオパーストリー          | 山野 公嗣<br>／スペースデザイン      |

<協力会員>

- |   |  |   |
|---|--|---|
| (株)アルプス<br>(株)ウチタ<br>エース工芸<br>AGC硝子建材(株)和歌山支店<br>(株)遠藤照明 営業本部 大阪支店<br>大阪ガス(株)大阪ガスマーケティング<br>営業サポートセンター<br>大阪ガスケミカル(株)<br>大芝建材(株)和歌山営業所<br>オーロン物産(株)<br>カドヤ(株)<br>紀陽ダイキン空調(株)<br>ダイキン工業(株)空調営業本部 設備営業部<br>コイズミ照明(株)大阪第2営業所<br>小松ウオール工業(株)和歌山支店 | (株)コムラ<br>(株)酒直<br>(株)サニコン<br>三協樹脂建材(株)<br>三和シャッター工業(株)和歌山営業所<br>(株)総合資格 和歌山校<br>(株)ダイキアックス和歌山営業所<br>大光電機(株)大阪支店和歌山事務所<br>太陽工業(株)<br>(有)土橋鋳金工作所<br>(株)ディーケーワークス<br>東芝キャリア(株)関西支社 和歌山営業所<br>TOTO(株)阪奈和支店和歌山営業所<br>(株)ナルセ<br>ナブコドア(株)和歌山営業所<br>(株)日本システム家具 | (株)ハイブリッジコーポレーション<br>パナソニック(株)エレクトリックワークス社<br>和歌山電材営業所<br>HARA設備<br>(株)富士商会<br>フジテック(株)和歌山営業所<br>村上建設(株)環境事業部<br>(株)LIXIL<br>リビエラ(株)西日本グループ第1チーム<br>リビングショップ和歌山(有)<br>(医)黎明会 健診センター・キタデ<br>YKK AP(株)関西支社ビル和歌山支店<br>(一社)和歌山県エルピーガス協会<br>(株)和歌山ナセリー<br>和歌山ベストン(株) |
|---|--|---|

事務局より -Schedule-

- |   |  |
|---|--|
| 9/20 広報誌「J.W.vol.022 2022」発行  | 10/25 建築相談1件(生駒)/JIA事務局<br>和歌山県木造住宅生産体制強化推進協議会(島)/建築士会館3F                                    |
| 9/26 第6回きのくに建築賞1次審査/オンライン   | 10/26 CORE TALK in WAKAYAMA 2022 和歌の浦アートキューブ<br>「創造と学びと空間」/小堀哲夫建築設計事務所 小堀哲夫氏 86名             |
| 9/28 9月勉強会(出席18名)<br>住ベシート防水株式会社様新商品等紹介/オーロン物産株式会社様<br>「人工地盤の家」/榊堀田設計谷岡拓氏によるレクチャー<br>/建築士会館3F | 10/27 きのくに建築賞実行委員会(城本、島、橋本浩、山中)/JIA事務局<br>11/2 きのくに建築賞実行委員会(城本、島、橋本浩、山中)リハーサル<br>/和歌山県立近代美術館 |
| 10/2 支部青年委員会主催「卒業設計コンクール講評会」(西本)/梅田   | 11/7 11月役員会/JIA事務局<br>11月月例会/JIA事務局  |
| 10/3 きのくに建築賞実行委員会(城本、島、橋本浩、山中)/JIA事務局   | 11/12 和歌山市：和歌山城天守閣整備検討ワークショップ参加(谷岡・島)<br>/和歌山県民文化会館  |
| 10/4 10月役員会/JIA事務局<br>10月月例会/JIA事務局   | 11/20 第6回きのくに建築賞公開審査/和歌山県立近代美術館  |
| 10/10 和歌山市：和歌山城天守閣整備検討ワークショップ参加(谷岡・島)<br>/和歌山県民文化会館   | 11/24 建築相談1件(瀧川、中道)/JIA事務局<br>きのくに建築賞実行委員会(城本、島、橋本浩、山中)/JIA事務局                               |
| 10/14-15 第6回きのくに建築賞現地審査   | 11/29 建築三団体まちづくり協議会運営委員会<br>士会・事協・JIA/建築士会館3F  |
| 10/17 建築三団体まちづくり協議会運営委員会<br>士会・事協・JIA/建築士会館3F   |  |
| 10/20-22 JIA建築家大会2022沖縄(谷岡、島)   |  |



Wakayama



「PISA」8 MARZO '95 m. tachibana ITALIA  
→ BATTISTERO  
→ CATTEDRALE  
→ CAMPANILE O TORRE PENDENTE  
→ PIAZZA ARCADESLOVADO

## ■9月勉強会 (9/28)

9月28日(水)、建築士会館3Fにて二部制の勉強会を行いました。第一部として、協力会員のオーロン物産株式会社様による、住ベシート防水株式会社新商品等紹介、第二部は地域会会長である榊田設計谷岡拓会長から「人工地盤の家」のレクチャーをして頂きました。どちらも興味深い内容で、出席した会員よりたくさん質問があがり、大いに盛り上がりました。

榊田設計 / 岩脇 邦樹



## ■JIA 建築家大会 2022 沖縄 (10/20 ~ 10/22)

10月20日(木)、21日(金)、22日(土)、コロナ禍で延期されていた建築家大会が、沖縄本土復帰50周年の節目となる今年、沖縄県で開催されました。2019年に焼失した首里城の再建が着工したタイミングでもありました。大会中を地域で過ごし、その風景や文化の中に身を置く事で、それらが生活や建築にどのようにつながるのかを体感できる貴重な機会でした。今大会のテーマは「失われたことでみえてくるもの」でしたが、私にとっては失われたモノより失われていくコトに課題を感じました。またその中で生まれてきたモノそれでも生き残っているコトを強く意識する大会でした。



写真：美味！山羊の刺身@那覇市安里

榊田設計 / 谷岡 拓

## ■CORE TALK in WAKAYAMA 2022(10/26)

表題「創造と学びと空間」

10月26日(水)、和歌の浦アートキューブにて建築家の小堀哲夫氏を講師とし「創造と学びと空間」と題し、講演して頂きました。講演はエジプトの建築や文化から始まり、「ROKI Global Innovation Center」の建設地と建築、空間の関わり合いについてのお話は、大変勉強になりました。「光風湯圃べにや」は、2018年に建物が火事で焼失するという悲しい出来事があり、そこから再建されたお話は、建築主・設計者、そしてそこに係る全ての人との関係性の大切さを感じる内容だったと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で、約3年ぶりの開催となりましたが、100名近く参加して頂きました。誠にありがとうございました。



橋本浩行建築設計室 / 橋本 浩行

## ■第6回きのくに建築賞 (11/20)

11月20日(日)、建築三団体まちづくり協議会主催で「きのくに建築賞」の最終公開審査を県立近代美術館で行いました。審査員長の倉方俊輔さん、審査員の竹口健太郎さん、広谷純弘さんはJIAのメンバーで、他に京都大学の神吉紀世子さん、和歌山大学の平田隆行さんの5名に審査をお願いしました。最優秀賞には山下設計・金嶋設計共同企業体が設計した「新宮市文化複合施設(丹鶴ホール)」が、優秀賞には「有田市民水泳場(えみくるARIDA)」が選ばれました。きのくに県民賞と審査員特別賞には「紀三井寺ケーブル山麓駅」が選ばれ、紀州材賞に選ばれた「和歌山城ホール」では橋本雅史さんが実施設計者として表彰されました。審査は白熱した議論が交わされましたが、動画のLIVE配信による影響もあったのか、来場者が少なかったことが残念です。学生や若手設計者に興味をもって来場してもらえるコンペティションに育ってくれればと期待しています。



城本建築設計事務所 / 城本 章広

- Q1. 建築家になろうと思ったのは何故ですか？橋さんの歴史から少しなぞらせて下さい。
- A1. 小学校の修学旅行で東大寺大仏殿の空間に強い印象を受け、中学校の修学旅行で皇居前広場の伝統的な景観とその向こうに見える近代的なビル群の対比の美しさに感動しました。27歳の頃、村野藤吾の建築に対する情熱をひたむきに淡々と語る姿を見て涙が止まらず、この道を選ぶ決意をしました。
- Q2. エテルノという名前の由来はなんですか？
- A2. イタリアに住んで「長く続いているものには命はぐくむ何かがある」と思いイタリア語のエテルノ(永遠の事物)にあやかり事務所名としました。
- Q3. 好きな建築家や尊敬している人はだれですか？
- A3. ガウディが亡くなってから一世紀になりますが、彼は自然への賛歌、象徴的な表現、エコロジーの思想を先取り、造形のあらゆる感情を楽しみながらそれを結晶化した人です。古代から未来へ生き続けている人。私もサグラダ・ファミリア教会の前に立ち尽くした一人です。



橋先生のスケッチを拝見  
扉絵のように素敵です

スタッフの皆さんと



## 耳鼻咽喉科はやしくリニック 研修センター

用途/研修センター 構造/鉄骨造2階建て  
県庁前の大通りに面し、カーブの外壁にはタイルの凹凸と色変化により風が吹き降り舞い上がる自然の動きを表現した

協力会員/榊酒直、三和シャッター工業(株)、大光電機(株)、TOTO(株)、リビングショップ和歌山(有)、YKK AP(株)

- Q4. クライアントと意見や方向性をすりあわせる作業が必要かと思いますが、心がけている事を教えてください。
- A4. 基本設計は時間が掛かります。クライアントが理解できない場合、根気よく説明して理解してもらい、納得してもらうよう心掛けています。
- Q5. エテルノ事務所の特徴について教えてください。
- A5. さまざまな提案を繰り返し、建築主の期待していた以上のものをつくること。基本設計に時間をかけること。できる限り現場に足をはこぶこと。依頼主の変更をめんどうと思わずこの機会にもう一度考えるチャンスを与えてくれたと思い、さらにレベルアップを心掛けること。
- Q6. どういったものを今後建築してみたいですか？テンションのあがる依頼はどのような建築物でしょうか？
- A6. どのような依頼があってもテンションがあがりますが、モニュメンタルな記念建築物です。
- Q7. これだけはいくら施主でも譲れない。といったようなこだわりはありますか？
- A7. 施主はさまざまな夢があり、個性を持っています。出合いをチャンスと思い、こだわらずに施主とコラボすれば思った以上の建築が生まれます。
- Q8. 最後に、JIAにひとことモノ申していただけますか？
- A8. 長い間地方は東京の方を向いて新しいものを取り入れてやって来た結果、地域の特性が育って来なかった。地方創世の時代に我々はもって和歌山の特性を深く認識し、他府県から設計が流入する中、我々と和歌山独自の他の地域にはない特性を活かし個性を表現する努力が必要であると考えています。



事務所エントランス

## 芦屋の家

用途/一戸建て住宅  
構造/鉄骨造 地下1階地上2階建て  
ピンクとホワイト、色とりぽんでやさしく迎えてくれる家



協力会員/紀陽ダイキン空調(株)、三協樹脂建材(株)、大光電機(株)、TOTO(株)、LIXIL、リビングショップ和歌山(有)



## Hビル

用途/商業ビル・住宅  
構造/鉄骨造3階建て  
建物ファサードに外皮を設け、その隙間から風と光が通り長いカーブのスリットから人と車も出入りする意匠デザイン

協力会員/榊酒直、三和シャッター工業(株)、LIXIL、リビングショップ和歌山(有)、YKK AP(株)

幼少期より、建造物による圧倒的な空間美、景観美に感銘を受け、イタリア留学等を経て建築というものを突き詰めてこられた橋雅彦所長。敬愛している茶人、片桐石州の設計した奈良の慈光院をイメージしたという事務所は、建築物そのものが美しいデザインで溢れています。壁のモニュメント、扉のガラスの文様、階段の形状や土間に散りばめられたガラス玉。柔らかな光と静寂さが相俟った上質な空間に、橋所長のこだわりが感じられます。流行を追わず、名画のように何百年たっても愛される生命をもった崇高なモノに建築を少しでも近づけたい。そんな想いから、イタリア語で永遠と冠したエテルノ建築設計事務所をご紹介します。

## File.04 エテルノ建築設計事務所

取材・編集/nha

